重点分野・テーマ別に集中実施する販売促進の強化等緊急対策事業
【 タイ国バンコク出張 分野・テーマ別販売促進活動 報告】

日程 9月24日 ～ 29日 5泊6日

	会社名	役職	氏名
出張者	GLO-berryJapan㈱	代表取締役	伊東良久
		海外担当	Labanalabhananda Donchanok
	㈱フルーツむらはた	代表取締役	村端 一男

（出張目的）

①タイ/バンコク 日本生鮮市場(トンロー市場)にて 販売促進実施
※レギュレーション変更後、青果物タイ国への輸出実態調査兼ねる
②現地旅行会社へ果実携行輸出に向けて働きがけ

（輸出果実・数量）

GLO	ぶどう 各種	60房	長野（秀果園）・岩手

（日程）

日程	場所	内容	
9/24 ㈫	空港へ移動	Labana 須坂⇒長野⇒上野⇒成田	村端 小松⇒羽田
		伊東 池袋⇒上野⇒成田	
	東京⇒BKK	NH807 成田17:00 ⇒ BKK 21:40	JL33 羽田00:40
25日㈬	バンコク	Aリンゴ打合せ/ B携行輸出	⇒ 05:00BKK ,事前打ち合わせ
26日㈭	バンコク	市場	
27日㈮	バンコク	市場	
28日㈯	バンコク	市場	
29日㈰	バンコク⇒東京	NH848 BKK09:35 ⇒ 羽田 17:55	※9/28 BKK21:55⇒ 羽田06:05
		Labana 羽田⇒東京⇒長野⇒須坂	羽田07:45⇒小松08:45

商談件数	商談相手属性		今後継続	契約件数	目標金額（千円）
3	卸 及び 他		有	1	8,500

レギュレーション変更に伴い、輸出元が制限され物量的に厳しくなったとともに、
タイ国でも価格重視の傾向が見られ始めた。大手量販の低価格路線に引っ張られている。

1） 輸出実現の件

今回シッパーである ㈱JALUX ASIA様もレギュレーション変更後初青果物
一度 一週間前に1箱のみ試験輸入実施し今回の運びとなる。
日本国内 植物防疫所への提出書類が増えかなり煩雑とはなるものの、
タイ国への輸出が今後スムーズに運んでいけることとなる。

2） 輸入社A

9月当初 FHTにて葡萄輸入を図るもタイ政府より書類不備を指摘され
(タイ通関職員の不勉強による)日本からの輸出が出来なかった。
今回他インポーターであるが、果実輸入可能である旨報告し、
りんごに繋げていく。

3) 旅行代理店B

タイ国内大手旅行会社 日本との繋がりも強い。
昨今タイ旅行社も個人旅行者が増え、旅行代理店を通すことが減少。
代理店ならではのメリットとして、レギュレーションが変わったからこそ
果実携行の許可を政府に働きかけれないか、又、小口貨物輸出(航空会社との連携) など実現性の可能性を提案。

4) 販売促進活動

開店時間 09:00 ～ 18:00
メンバー制(業者)であるが、一般客も午後から購入可能。
日本から仕入 金曜日朝入荷
3日間で 約40房。残りは継続して販売していただく。